

2月保健だより

平成30年2月1日 (木) 八千代保育園

気温が低く乾燥した日が続いています。2月4日は、暦の上では立春で、春を迎える時期とされていますが、一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われています。

感染症もまだまだ流行る時期なので、うがい・手洗いでウィルスブロックはもちろん、人の集まる場所への外出や、交通機関等を利用される際には、マスクの着用もお奨めします。

そして、2月3日は節分ですね。

子どもたちの元気な姿、豆まきの声が今から楽しみです。豆まきのように、子どもたちの体の中にある、ウイルスや細菌も外に出ていきますように。そして成長とともに丈夫で健康な体になるようにと祈っています。

園でも引き続き、“手洗い・うがい・人込み”には注意しながら活動を行いたいと思います。

免疫機構が未熟で、感染症が重篤化しやすい子どもたちの集まりである保育園。子どもの健康を第一に、体調のすぐれないお子さんがいる場合は、早めにご連絡をさせて頂いております。

ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2月の保健行事

日程	内容
2月7日(水)	身体測定 : 全園児
2月13日(火)	0歳児健康診断 : 内海医師

嘔吐下痢症

嘔吐下痢症（おうとげりしょう）は、突然吐き出したり、激しい下痢を1日に何度も繰り返したりします。特に乳幼児がかかりやすく、脱水症状からひきつけを起こすなど、重症化することがあります。激しくぐずる、一日中ぐったりと寝ている、唇や口の中が乾いている、おしっこの量が減っているなどの症状が見られたら・・・すぐ受診しましょう。タオルやハンカチなどの共有を避け、手洗い・うがいをこまめに行うことが感染予防につながります。



下痢をした時は…

便の状態を確認します。色、固さ、血液が混じっていないかなどをチェックし、受診する時に説明できるようにします。便の写真を撮り、医師に診てもらうのもよいでしょう。



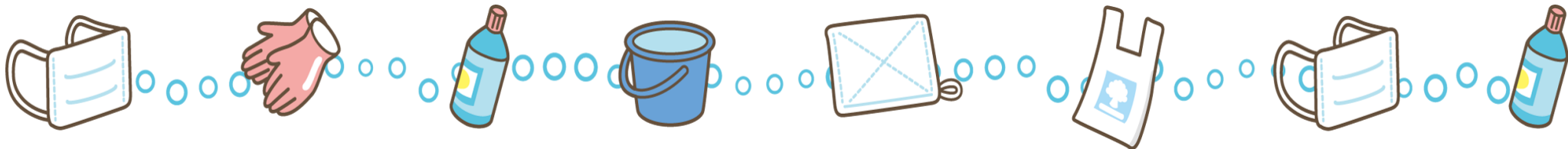
下痢の時の食べ物



おかゆ、うどん、野菜スープ、バナナ、りんごのすりおろしなどが適しています。生野菜や、柑橘系の果物、バターの多いパン、油っこい物、消化の悪い物は避けましょう。

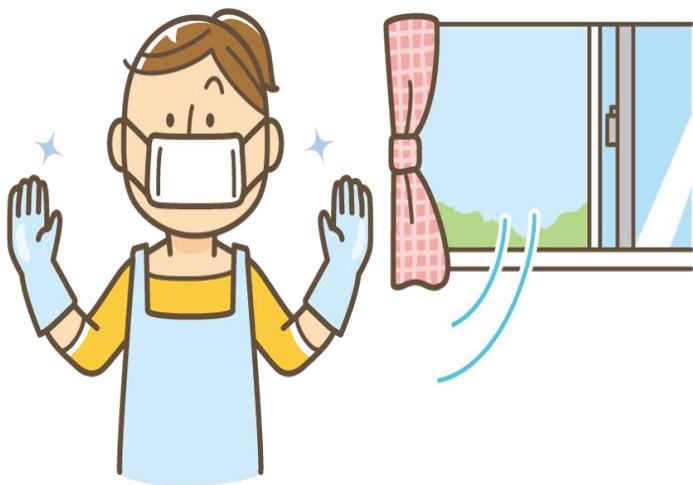


子どもは胃腸が未熟なので、よく下痢になります。ノロウイルスやロタウイルスを伴う下痢は、周囲への感染を防ぐため、迅速に処理しましょう。裏面もご覧下さい→



嘔吐物の処理方法

嘔吐物（おうとぶつ）は、二次感染を防ぐために速やかな処理が必要です。まずは窓を開けて換気を行い、ゴム手袋やマスクで体を覆って嘔吐物に直接触れないようにしましょう。



用意する物

- 使い捨て手袋・使い捨てマスク
- バケツ・雑巾
- ビニール袋・消毒液（塩素系漂白剤など）
- 使い捨てエプロン（あれば）

手順

- ①手袋（できればひじまで隠れるもの）をして捨ててもよい布や紙で拭き取ります。
- ②拭き取った物はビニール袋へ入れて、外へ漏れ出ないようにして捨てます。
- ③汚れた床は、消毒液（漂白剤等）などを薄めて拭きます。
- ④処理の後は十分な換気を行きましょう。

嘔吐物の付いた衣類の洗いかた

消毒液を薄めて、衣類を2時間程漬け置きした後、洗濯をします。他の衣類とは一緒に洗わないようにしましょう。

